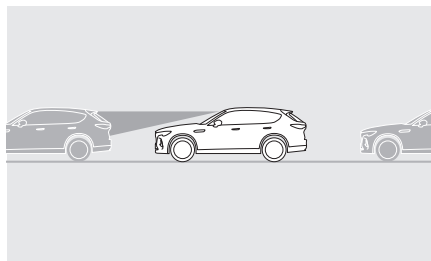


ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



前方車・歩行者・自転車を検知する [運転支援機能]

スマート・ブレーキ・サポート

[前方検知機能] (SBS) ※1※2※6

レーダーセンサーおよびカメラが前方の対象物（前方車、歩行者、自転車、自動二輪車）へ衝突する可能性があるとは判断したとき、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに衝突の危険性を知らせます。衝突を回避できないと判断すると、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。ドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合は、ブレーキが素早く確実にかかるようサポートします。

<標準装備>

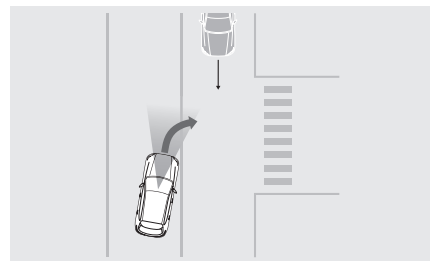
●対象が前方車：約4km/h以上

●対象が自転車 / 歩行者：
約10～80km/h

*ドライバーモニタリング装着車は、ドライバーが正面を注視していないときに衝突する可能性があるとは、通常よりも早期に衝突警報を行います。

*ドライバー・モニタリング装着車は、ドライバーモニタリングカメラでドライバーが正面を注視していないと判断した場合に対象物への衝突の可能性があると、通常よりも早期に衝突警報を行います。

*イラストは機能説明のイメージです。



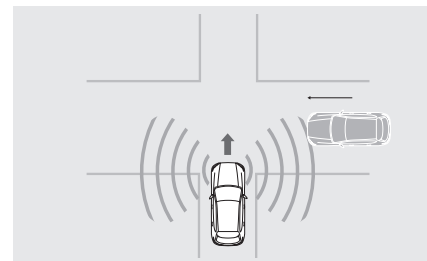
交差点での右折時に対向車を検知する [運転支援機能]

スマート・ブレーキ・サポート

[右直事故回避アシスト機能] (SBS) ※1※2※6

約4～20km/hで走行中に交差点で右ウインカーを点けて右折しているとき、自車と対向車との間の中央線を認識している場合、レーダーセンサーおよびカメラで対向車線を直進してくる車両を検知。衝突する可能性があるとは判断すると、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに危険性を通知します。衝突を回避できないと判断した場合、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>



前進時に左右から接近する車を検知する [運転支援機能]

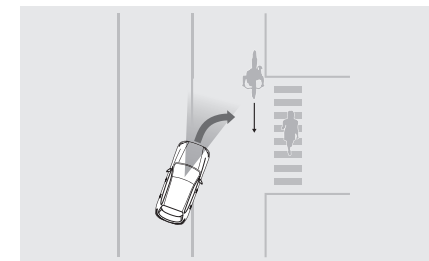
スマート・ブレーキ・サポート

[前進時左右接近物検知機能] (SBS-FC) ※1※2※6

見通しの悪い道路などでの接近車両との出会い頭事故の回避および被害軽減を図ります。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

- 自車が約5～20km/hで直進しているとき
- 接近車両が約20～60km/hで一定速度で走行しているとき



交差点での右左折時に歩行者・自転車を検知する [運転支援機能]

スマート・ブレーキ・サポート

[交差点事故回避アシスト機能] (SBS) ※1※2※6

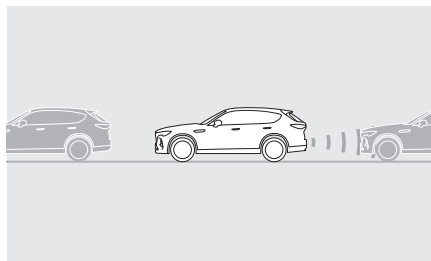
約8～20km/hで走行中に交差点で右左折するとき、カメラで歩行者、自転車を検知。衝突する可能性があるとは判断すると、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに危険性を通知します。衝突を回避できないと判断した場合、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>



※1 対象物（特殊な外観をした車両、部分的に見えている、隠れている、もしくは背景に溶け込んでいる車両と歩行者など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが連続する道路、夜間や夕暮れなど視界の悪い時など）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※2 対象物（レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが多い、坂の繰り返しなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※3 天候状況（雨・雪など）、隣接する壁や接近車両の状況などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※4 道路状況（急カーブ、急な坂道など）、天候状況（雨・雪・霧など）、障害物の形状（低い・小さい・細いなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※5 周囲に光源があるとき（街灯・信号機など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが多い・起伏が激しいなど）などの条件によっては適切に作動しない場合が

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術 / 危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



後進時に車や障害物を検知する [運転支援機能]

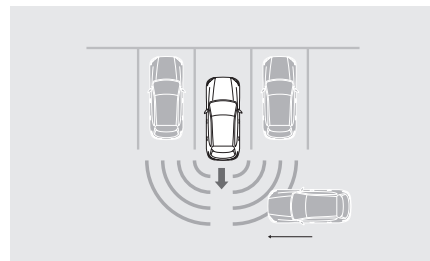
スマート・ブレーキ・サポート

[後進時検知機能] (SBS-R) ※2※6

約2～15km/hで後退中に後方の障害物と歩行者を超音波センサーとリアカメラが検知し、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

<標準装備>

- パーキングセンサー (フロント / リア) :
超音波センサーで車両周辺の障害物を検知し、警告音でドライバーに知らせます。



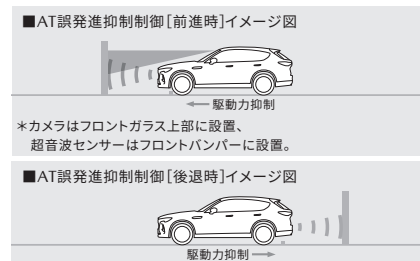
後進時に左右から接近する車を検知する [運転支援機能]

スマート・ブレーキ・サポート

[後進時左右接近物検知機能] (SBS-RC) ※3※6

0～約15km/hで後退中に自車の左右や後方に接近してきた車両を検知。衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>



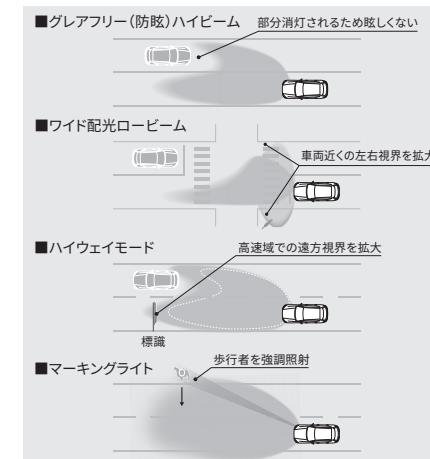
ペダルの誤操作による急発進を抑制する [運転支援機能]

AT誤発進抑制制御

[前進時 / 後退時] ※2※4※6

走行中 (前進時: 約50km/h以下、後退時: 約15km/h以下) や停車時、カメラや超音波センサーが前方または後方に歩行者や車両・壁などの障害物を検知しているにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたときに、表示および警報音と同時にエンジン出力を抑制。前進時には、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

<標準装備>



安全運転に必要な視認性を確保する

アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) ※5※6

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ヘッドランプの照射範囲や明るさを自動的に変化させるシステムです。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

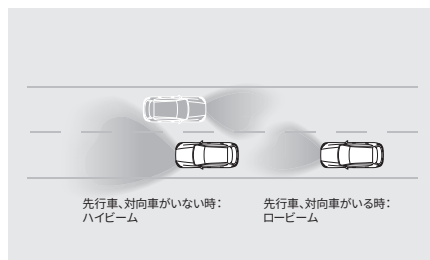
- グレアフリー (防眩) ハイビーム :
約30km/h以上で先行車や対向車の状況に応じてハイビームの照射範囲を自動的にコントロール
- ワイド配光ロービーム :
約40km/h以下で車両の左右側方を広く照射
- ハイウェイモード :
約95km/h以上でより遠方を照射
- マーキングライト :
約20～80km/hで自車と衝突する可能性がある歩行者をヘッドランプで強調照射

*市街地走行時や外部の照明環境、走行スピードなどにより、機能が一部制限されます。

*イラストは機能説明のイメージです。

あります。システムを過信せず、つねに周囲の状況に注意して、必要に応じて上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を切り替えるなど安全運転を心がけてください。※6 SBS、SBS-FC、SBS-R、パーキングセンサー、SBS-RC、AT誤発進抑制制御、ALHは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術

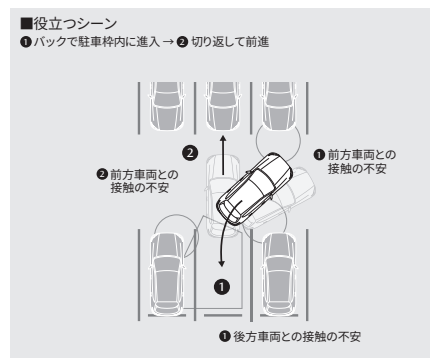


安全運転に必要な視認性を確保する
**ハイ・ビーム・コントロールシステム
(HBC) ※1※8**

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ハイビーム・ロービームを自動的に切り替えるシステムです。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

- **ハイビーム：**
約30km/h以上で走行中に、前方に先行車や対向車がないとき
- **ロービーム：**
次の条件のいずれかを満たしている場合に、HBCがヘッドランプを下向き（ロービーム）に切り替えます。
 - ・車速が約20km/h未満のとき
 - ・街灯が並んでいるエリアや路面の明るい街中を走行しているとき
 - ・システムが前方車のランプ類を検知したとき



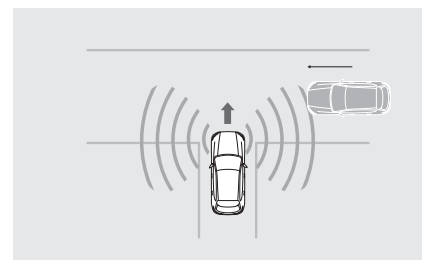
見えない部分の危険察知をサポートする

360°ビュー・モニター ※2※3※4※8

車両の前後左右にある4つのカメラを活用し、センターディスプレイの表示や各種警報音で低速走行時や駐車時に車両周辺の確認を支援するシステムです。車両が透過したかのような映像で車両周辺を確認できるシースルービュー機能も選択できます。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

- **トップビュー / フロントビュー / フロントワイドビュー / サイドビュー / リアビュー / リアワイドビュー / フロントシースルービュー / リアシースルービュー**

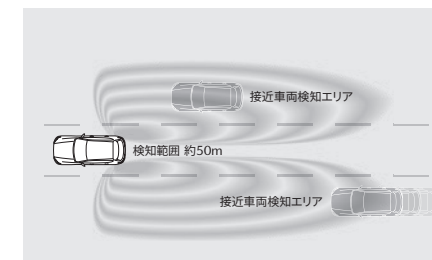


左右前方からの車の接近を通知する
前側方接近車両検知 (FCTA) ※5※8

交差点へ進入しているときに左右前方の死角から接近する車両を検知して、その接近状態に応じて表示を点灯させます。その状態で発進（約10km/h以下）すると表示が点滅。警報音とともにドライバーに危険を知らせます。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

*FCTA: Front Cross Traffic Alert



後方からの車の接近を通知する
**ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)
[降車支援機能] ※6※8**

約15km/h以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知すると、接近状態に応じてドアミラー表示を点灯。その状態で点灯した側にウィンカー操作すると、点滅表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。さらに降車時においても、後方から接近する車両や自転車を検知すると、各種表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

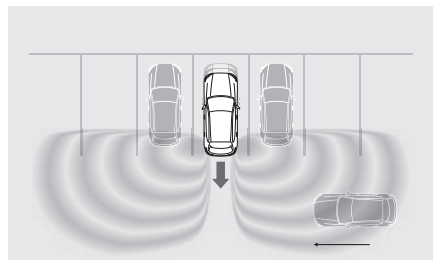
- **検知エリア (BSM)：**
自車の左右に隣接する車線で、自車のフロントドア後端から自車の後方約50mまで

*イラストは機能説明のイメージです。



※1 周囲に光源があるとき（街灯・信号機など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが多い・起伏が激しいなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。システムを過信せず、つねに周囲の状況に注意して、必要に応じて上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）を切り替えるなど安全運転を心がけてください。※2 天候状況（雨・雪など）、隣接する壁や駐車車両の状態などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※3 カメラが映し出す範囲やセンサーの検出範囲は限られています。また夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。画面はイメージで実際とは異なる場合があります。安全のため、モニターの映像を過信せず目視による安全確認を行いながら運転してください。※4 字光式ナンバープレートとの同時装着はできません。車速約15km/hを超えると画面が消える設定としています。※5 天候状況（雨・雪など）、隣接する壁や駐車車両の状態などの条件によっては

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



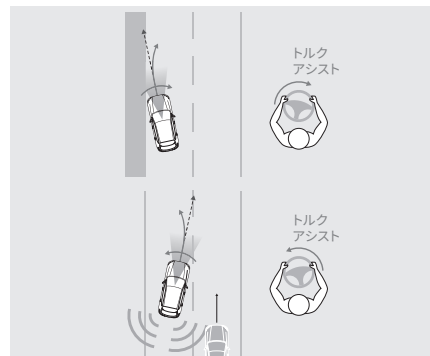
後方からの車の接近を通知する

後側方接近車両検知 (RCTA) ※2※8

駐車場などで自車が後退するときに左右後方から接近する車両を検知して、各種表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。

<標準装備>

*RCTA: Rear Cross Traffic Alert



車線からの逸脱回避を支援する **運転支援機能**

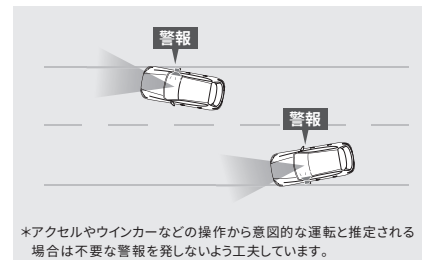
緊急時車線維持支援

【側方危険回避アシスト機能 & ロードキープアシスト機能】(ELK) ※6※7※8

側方危険回避アシスト機能は、車線の白線(黄線)を検知し、かつ後側方から接近する車両との衝突の可能性がある状態で車線変更を行おうとした場合、ドライバーのハンドル操作をアシストして衝突の回避を支援するシステムです。ロードキープアシスト機能はカメラで路肩の芝生や縁石などを検知し、路外へ逸脱する可能性があるとしてシステムが判断するとハンドル操作をアシストします。どちらの機能も約60km/h以上での走行中に作動します。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

*ELK: Emergency Lane Keeping



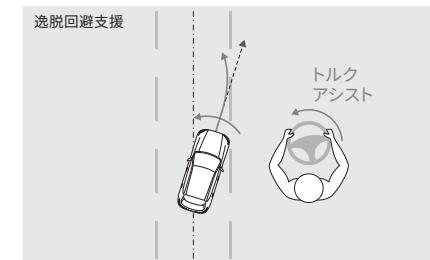
車線からの逸脱を警告する

車線逸脱警報システム (LDWS) ※7※8

自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせるシステムです。約60km/h以上での走行中にカメラが車線の白線(黄線)を検知。自車が車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、警報によりドライバーに知らせます。

<標準装備>

*LDWS: Lane Departure Warning System



車線からの逸脱回避を支援する **運転支援機能**

レーンキープ・アシスト・システム (LAS) ※7※8

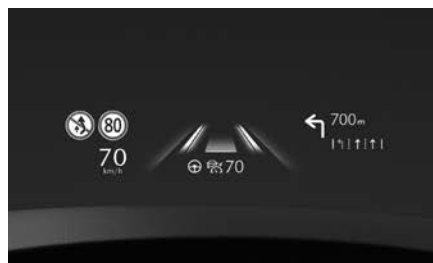
自車が車線から逸脱する可能性があるとして、ハンドル操作をアシストすることにより車線からの逸脱回避を支援するシステムです。約60km/h以上で走行中に車線の白線(黄線)を検知して、自車が車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、電動パワーステアリングを作動させてドライバーのハンドル操作をアシスト。同時にマルチインフォメーションディスプレイとアクティブ・ドライビング・ディスプレイの表示でドライバーに知らせます。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

*イラストは機能説明のイメージです。

適切に作動しない場合があります。※6 天候状況(雨・雪など)、接近車両の状況(自車に接近してこない、速度差がなく長時間並走しているなど)、道路状況(道路幅が極端に広い/狭いなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※7 天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(急カーブ・車線幅が極端に広い/狭い・車線の白線(黄線)が見えにくいなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※8 HBC、360°ビュー・モニター、FCTA、BSM、RCTA、ELK、LDWS、LASは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術 / ドライバーの異常による事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



少ない視線移動で表示認識できる

交通標識認識システム (TSR) ※1※4

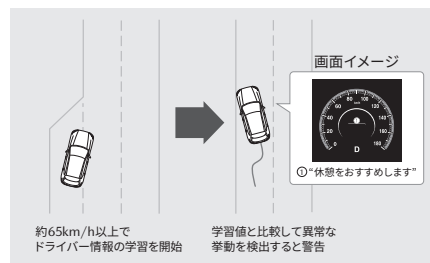
走行中にカメラやナビゲーションシステム※5が認識した交通標識を、アクティブ・ドライビング・ディスプレイとメーターに表示することで、交通標識の見落とし防止を図り、安全運転を支援するシステムです。表示した最高速度標識の速度を超過したときは、表示や警報音でドライバーに知らせます。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

*TSR: Traffic Sign Recognition system

*画像は表示イメージです。実際にはフロントガラスに照射されます。

※5 ナビゲーションシステムを機能させるには、別途ショップオプションのナビゲーションシステム用SDカードアドバンス2が必要になります。

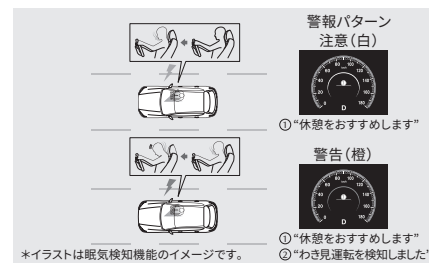


ドライバーへの休憩をお勧めする

ドライバー・アテンション・アラート (DAA) ※4

ドライバーの疲労や注意力の低下を検知し、ドライバーに休憩を促すシステムです。車線内を約65km/h以上で走行しているとき、クルマがドライバーの疲労増加や注意力低下を推定。マルチインフォメーションディスプレイの表示と警報音でドライバーへ休憩を促します。

<標準装備>



ドライバーの眠気・わき見を検知する

ドライバー・モニタリング※2※4

ドライバー・モニタリングは、運転者の眠気やわき見を検知して、運転者に知らせるシステムです。眠気検知機能は、運転者の眠気の程度を検知します。運転者の眠気を検知すると、画面表示と警報音で運転者に休憩を促します。また、わき見検知機能は、運転者のわき見を検知すると、画面表示と警報音で運転者に注意を促します。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

● 眠気検知

警報パターン (注意):

① 疲労や眠気を検出した場合

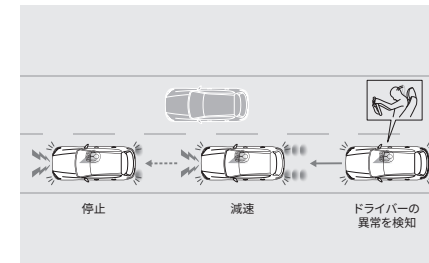
警報パターン (警告):

① より強い疲労や眠気を検出した場合

● わき見検知

警報パターン (警告):

② 運転者のわき見を検知した場合



ドライバーの異常を検知し、事故の回避・事故の被害軽減を支援する「運転支援機能」

ドライバー異常時対応システム (DEA) ※2※4

ドライバー・モニタリングと連動し、高速道路、自動車専用道路および一般道を問わず、ドライバーが急病などで運転の継続が困難になった場合に、車両を減速・停止させることで、衝突事故やその被害の軽減に寄与するシステムです。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

【機能の概要】

- DEAは、ドライバーの異常を検知、または乗員が操作することにより作動します。
- DEAが作動するとハザードランプの点滅を開始し、間もなく緊急停車することを乗員に報知しながら、ドライバーの正常 / 異常判定を行います。
- ドライバーが通常運転状態に復帰せずDEAがキャンセルされない場合には、ハザードランプに加え、ブレーキランプの点滅とホーンの吹鳴を開始し、車両を減速・停止させます。

*DEA: Driver Emergency Assist

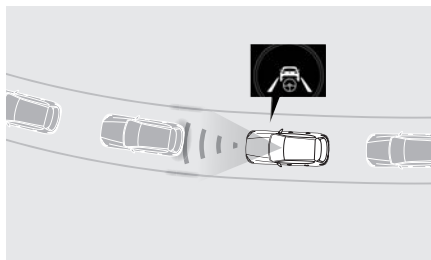
*DEAの一部機能に関しては、コネクティッドサービスの契約 / ナビゲーションシステムのSDカードの挿入が必要になります。

*イラストは機能説明のイメージです。



※1 対象標識 (明るすぎる・暗すぎる・汚れ、雪、木などで隠れているなど)、天候状況 (雨・雪・霧など)、道路状況 (カーブが連続する道路など) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※2 頻繁に顔の向きを動かす、目や顔の一部が隠れている、光の環境が大きく変化するなどの条件によっては適切に作動しない場合があります。※3 対象物 (レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など)、天候状況 (雨・雪・霧など)、道路状況 (カーブが多い、坂の繰り返しなど) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※4 TSR、DAA、ドライバー・モニタリング、DEA、CTS、MRCC、ドライビングサポートプラスは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術 / ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



高速道路での渋滞時に
疲労軽減をサポートする **運転支援機能**

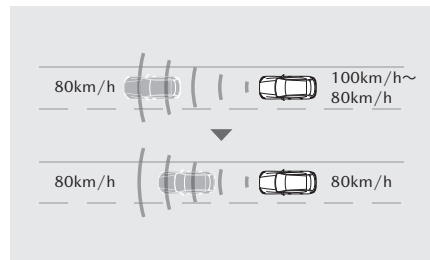
クルージング&トラフィック・サポート (CTS) ※3※4

追従走行機能とステアリングアシスト機能により、高速道路や自動車専用道路の渋滞時に運転疲労の軽減をサポートするシステムです。先行車との車間距離を一定に保つ追従走行に加え、車線を検知している場合はステアリングアシスト機能が車線に沿った走行をアシスト。低速で車線を検知していない場合は、先行車の走行軌跡に沿った走行をアシストします。また速度標識の速度を取り込む標識連動車速調整機能※6も付いています。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

※6 ショップオプションのナビゲーション用SDカードアドバンス2との同時装着で、標識連動車速調整機能が使えます。

- 追従走行機能：0km/h～高速域まで
- ステアリングアシスト機能：
0km/h～高速域まで（白線検知時）



車間距離を一定間隔で保つ **運転支援機能**

マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) ※3※4

フロントレーダーセンサーが先行車を検知することで、アクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、設定した速度での定速走行や、車間距離を一定に保ちながら追従走行ができるシステムです。また一部グレードには速度標識の速度を取り込む標識連動車速調整機能※6も付いています。

<対象グレードは主要装備をご確認ください>

※6 ショップオプションのナビゲーション用SDカードアドバンス2との同時装着で、標識連動車速調整機能が使えます。

- 全車速追従機能付：
0km/h～高速域まで

安全運転をサポートする電子キー

ドライビングサポートプラス※4

ショップオプションの電子キーでドアロックを解錠すると、ドライビングサポートプラスを始動。ドライビングサポートプラスは、低速走行（前進時：約30km/h以下、後退時：約15km/h以下）時に、ペダルの踏み間違いなどでアクセルペダルが速く強く踏み込まれたとシステムが判断したとき、EVシステム/エンジンの出力を抑制することで、車両が急加速しないよう制御します。

<ショップオプション>

*標準装備のキーを同時に携帯すると、ドライビングサポートプラスが作動しない場合がございます。

*イラストは機能説明のイメージです。

万が一の事故や衝突による被害を軽減するための技術

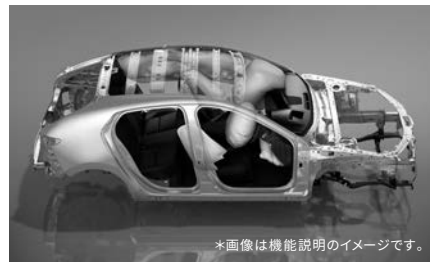


歩行者傷害被害を低減し、
キャビンの変形を最小限に抑える

SKYACTIV マルチソリューション スケーラブルアーキテクチャー

歩行者傷害被害の低減と、乗員に加わる
衝撃を和らげキャビンの変形を最小限に
とどめるため、メイン / アッパー / ロアの
3本のロードパスで効率的にエネルギーを
吸収するマルチロードパスを採用。また
軸圧縮フレームの採用やフレーム系列を
最大限ストレート化するといった3つの
ブレークスルー技術を取り入れ、衝突時の
安全性能も一層高めています。

<標準装備>



乗員の体をしっかりと受け止める

SRS※エアバッグシステム 運転席&助手席、運転席ニーエアバッグ、 カーテン&フロントサイド

SRS※エアバッグシステムを全車に標準
装備。前方からだけでなく、側面からの
衝突時にも前後席の乗員への衝撃を軽減
します。さらに運転席には、膝周りの傷害
や体の前方移動を抑えるSRS※ニーエア
バッグを採用しました。

<標準装備>

※SRS: Supplemental Restraint System (補助拘束装置) 運転席
& 助手席エアバッグ、運転席ニーエアバッグは横方向や後方からの
衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には
作動しません。カーテン&フロントサイドエアバッグは横方向からの
衝撃を感じた場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの
衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグ
はシートベルトをしたうえでの補助拘束装置です。シートベルトは
必ず装着してください。

衝突時に歩行者の体を守る

歩行者被害軽減

歩行者の頭部を効率的に受け止めて
エネルギーを素早く吸収するボンネット
構造と、膝周りにかかる力を低減する
工夫を取り入れたフロントバンパー構造
によって、万一の衝突時に歩行者の傷害
を軽減します。

<標準装備>

乗員を素早く拘束する

高機能シートベルト

運転席・助手席・後席左右には、衝突
初期の拘束性を高めるプリテンショナーと、
安定した荷重で乗員を拘束するロード
リミッターを装備。また、シートベルトの
締め忘れを防ぐシートベルトリマインダー
を全席に採用しています。

<標準装備>



安全運転サポート車(サボカーS・ワイド)に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む
運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート
車(サボカーS・ワイド)」に該当しています。サボカーS・ワイドは、被害
軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱
警報、先進ライトを搭載した車です。



*対象車種、サボカーSの区分についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧ください。